

1 脱炭素・GREEN×EXPO 推進局

(1) 温室効果ガスの市内排出量および排出源別の推移（5ヵ年）と直近年の速報値

【脱炭素計画推進課長 大屋 671-2683】

【単位：万 t-CO₂】

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (速報値)
二酸化炭素	1,783	1,739	1,615	1,675	1,604
エネルギー転換部門	380	386	303	357	295
産業部門	189	182	166	164	169
家庭部門	443	431	472	465	440
業務部門	361	336	312	328	319
運輸部門	361	356	317	314	334
廃棄物部門	50	48	46	48	48
その他温室効果ガス (メタンほか)	35	40	39	39	37
温室効果ガス合計	1,818	1,779	1,654	1,714	1,641

(参考) 電力のCO ₂ 実排出係数	0.468 kg-CO ₂ /kWh	0.457kg-CO ₂ /kWh	0.447kg-CO ₂ /kWh	0.457kg-CO ₂ /kWh	0.457kg-CO ₂ /kWh
-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

※項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。

※過年度の排出量について、最新の算定方法及び各種統計データの年報値の修正等を反映し再計算を行っています。

(2) 最新集計年度末の太陽光パネルの設置状況（戸建住宅、集合住宅）と市と

して取り組んだ導入推進施策の内容 【脱炭素計画推進課長 大屋 671-2683】

○2022年度末の太陽光パネルの設置状況（戸建住宅、集合住宅）

- ・約 44,000 件、約 221,000kW

※再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法情報公表用ウェブサイト（資源エネルギー庁）の市町村別認定・導入量等より推計した値であり、家庭部門や業務部門、産業部門等の部門別での導入量や、戸建住宅及び集合住宅の建て方別での導入量は公表されていないため、全体量を記載しています。

○市として取り組んだ導入推進の内容

- ・神奈川県と連携した太陽光発電設備の導入促進
- ・パンフレットの配布やヨコハマ・エコ・スクールを通じた普及啓発 等

**(3) 年度末再生可能エネルギー発電一覧（種別、箇所数、容量、主な施設）と
最新集計の新規設置一覧（種別、箇所数、容量、主な施設）**

【脱炭素計画推進課長 阿部 671-2336】

○本市施設における再生可能エネルギー発電施設（2022年度末時点）

エネルギー種別		箇所数	設備容量 (kW)	主な施設
太陽光		329	7,559	小中高等学校(239)、市役所、 区役所(12)、浄水場(2)、 水再生センター(3)、地下鉄(4) 等
風力		1	1,980	ハマウイング
小水力		6	728	港北配水池、川井浄水場、 青山水源事務所、峰配水池、 恩田配水池、今井配水池
バイオマス	汚泥消化 ガス発電	2	8,100	北部・南部汚泥資源化センター
	廃棄物 発電	4	79,000	鶴見・旭・金沢・都筑工場
合 計		342	97,367	

○本市施設における再生可能エネルギー発電施設（上記のうち2022年度新規設置分）

エネルギー種別	箇所数	設備容量 (kW)	主な施設
太陽光	19	763	小中学校 (18)、収集事務所(1)

※2023年度実績については、現在集計中です。

(4) 市再生可能エネルギー導入検討報告制度の基づく報告の集計

【脱炭素計画推進課長 阿部 671-2336】

○令和5年度 再生可能エネルギー導入検討報告書 受付実績

- ・報告書受付件数と再生可能エネルギー導入予定割合

報告書受付件数	再生可能エネルギー 導入予定件数	導入割合
99	29	29.2%

- ・上記の再生可能エネルギー導入予定件数の内訳

太陽熱利用システム	太陽光発電システム	その他
1	27	1

3 追加

GREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会) 関連事業の予算執行状況 (各事業ごと) 【GREEN×EXPO 推進課長 中林 671-4427】

○国際園芸博覧会推進事業費	2023年度 (令和5年度) 決算の詳細内訳 (円)
・推進広報費	146,429,476
・推進活動費	78,665,073
・会場建設費	260,310,321
・会場建設費 (4年度からの繰越)	39,420,893
・協会負担金・基金	144,100,000
・事務費	4,390,989
合計	673,316,752

○国際園芸博覧会推進事業費	2023年度 (令和5年度) 繰越額 (円)
・会場建設費 (6年度への繰越)	49,575,466